

2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月13日

上場会社名 株式会社ネオマーケティング 上場取引所 東
 コード番号 4196 URL <https://www.neo-m.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 橋本 光伸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 秋田 誠 (TEL) 03(6328)2880
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の連結業績(2020年10月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	1,397	28.8	268	92.1	251	80.4	169	98.3
2020年9月期第3四半期	1,085	—	139	—	139	—	85	—

(注) 包括利益 2021年9月期第3四半期 167百万円(96.3%) 2020年9月期第3四半期 85百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	74.54	73.28
2020年9月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、2020年9月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年9月期第3四半期の数値及び2021年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 2020年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。
 3. 2021年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は2021年4月22日に東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場したため、新規上場日から2021年9月期第3四半期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
 4. 当社は、2021年3月2日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	1,467	760	51.8
2020年9月期	982	211	21.6

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 760百万円 2020年9月期 211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	0.00	—		
2021年9月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,822	27.7	300	72.8	283	63.0	188	61.2	81.03

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
 2. 当社は、2021年3月2日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2021年9月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮しております。
 3. 2021年9月期（予想）の1株当たり当期純利益は、公募による新株発行株式（40,000株）を含めた予定期中平均株式数により算出しています。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規 一社（社名） 一、除外 一社（社名） NEO MARKETING ASIA LIMITED

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年9月期3Q	2,448,000株	2020年9月期	2,408,000株	
② 期末自己株式数	2021年9月期3Q	一株	2020年9月期	190,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期3Q	2,276,974株	2020年9月期3Q	一株

- (注) 1. 当社は、2020年9月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年9月期第3四半期の期中平均株式数については記載しておりません。
 2. 当社は、2020年9月29日付で普通株式1株につき200株の割合、2021年3月2日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数を算出しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（1株当たり四半期純利益に関するご注意）

2021年3月2日に普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、当該株式分割を反映した期中平均株式数を基に1株当たり（予想）四半期純利益を算定しております。

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により多くの産業において経済活動の縮小・停滞等の状況が継続しております。国内でのワクチン接種が開始されたことに伴い、経済活動も徐々に回復していくことが期待される一方で、世界的に見ても感染症の拡大傾向は継続しており、依然として国内外における経済的な見通しは不透明な状況となっております。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、当社グループにおいては、前連結会計年度より従業員の安全・安心を守る施策として、二酸化炭素濃度測定器導入による換気と密の回避、始業前の全従業員への非接触型検温測定の義務付け、全社的なテレワークの推奨とそれに向けての機器及びルールの整備・体制の構築等の対策について、グループ一丸となって取り組んでまいりました。

当社グループのメインの顧客層である製造業のお客様においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は他業種との比較において軽微であり、現時点の経済活動状況を前提とした場合に当社グループが業績面において受ける影響は限定的と考えております。中長期的に社会がWithコロナ時代に適合していく過程で変化していく生活者の意識や消費行動を捕捉する必要があることから、当社グループが提供するマーケティングサービスの需要が喚起されていくものと予想しております。

このような状況の中、日本のマーケティング研究における第一人者である早稲田大学の恩蔵直人教授と共同でエボクトセット（想起集合）研究プロジェクトを立ち上げ、エボクトセットを用いた調査サービスの提供を開始いたしました。エボクトセットとは、例えば「ビールが飲みたい」「洗剤を買おう」と思った時に、頭の中でイメージされるブランドの集合体のことを指します。リアル店舗において商品棚を眺めながら値札やパッケージを吟味して行う買い物のプロセスにおいては、エボクトセットに入っていない商品が購買される可能性もありましたが、オンライン上で購買が完結される場合、WEBの指名検索から商品の購買につながるが多いため、検索される段階で想起されないブランドは今まで以上に購買されにくくなっております。そのような背景から、エボクトセットはECやD2C等オンライン販売が加速する現代において重要なマーケティング指標になると考え、新たなサービスとして開発いたしました。

また、当社は2021年6月に、noteに執筆した【1時間で分かる】P&G流マーケティングの教科書」が大きな反響を呼んだ石井賢介氏が代表を務めるMarketing Demo株式会社（東京都港区）との協業を開始し、これによりエボクトセット調査で課題が明らかになったクライアント企業に対し、第一想起獲得の為のマーケティング戦略を立案し実行するまでのシームレスな支援が可能となりました。

営業面での取り組みにおいては、獲得した顧客に対し、独自に開発した「マーケティングフレームワーク4K」に基づいてクロスセル・アップセルの提案活動を進行する体制を整備し、案件単価増大に向けた流れを構築いたしました。

見込顧客の獲得や営業リード獲得戦略につきましては、マーケティングに関連するWEBセミナーを毎週開催する体制を整備しセミナー参加者を顧客に引き上げる仕組みを構築し、オンライン商談による営業効率化との相乗効果で案件創出機会が増大いたしました。

以上の取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,397,309千円、営業利益268,687千円、経常利益251,596千円、親会社株主に帰属する四半期純利益169,733千円となりました。

なお、当社グループはマーケティング支援事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間の資産につきましては、1,467,520千円となり、前連結会計年度末に比べ485,456千円増加いたしました。これは主に、償却等による固定資産の減少14,069千円があったものの、新規上場に伴う新株式の発行等による現金及び預金の増加487,398千円、仕掛品の増加12,656千円があったことによるものです。

(負債)

負債につきましては、706,770千円となり、前連結会計年度末に比べ63,406千円減少いたしました。これは主に、未払法人税等の増加13,042千円、賞与引当金の増加12,545千円、ポイント引当金の増加12,829千円があった

ものの、長期借入金の減少103,979千円があったことによるものです。

(純資産)

純資産につきましては、760,750千円となり、前連結会計年度末に比べ548,862千円増加いたしました。これは主に、新規上場に伴う新株式の発行及び自己株式の処分により、資本金が33,120千円、資本剰余金が281,150千円増加するとともに、親会社株主に帰属する四半期純利益169,733千円の計上による利益剰余金の増加があったためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき修正いたしました。詳細につきましては、2021年8月13日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	476,458	963,856
受取手形及び売掛金	194,395	183,070
仕掛品	18,660	31,317
貯蔵品	5,960	6,729
その他	28,513	38,537
貸倒引当金	△45	△41
流動資産合計	723,942	1,223,468
固定資産		
有形固定資産	19,403	18,925
無形固定資産		
のれん	147,002	134,277
ソフトウェア	11,233	9,093
無形固定資産合計	158,236	143,370
投資その他の資産	80,482	81,755
固定資産合計	258,121	244,052
資産合計	982,064	1,467,520
負債の部		
流動負債		
買掛金	37,466	33,402
1年内返済予定の長期借入金	142,635	144,899
未払法人税等	47,958	61,001
賞与引当金	—	12,545
ポイント引当金	57,699	70,529
その他	154,675	158,170
流動負債合計	440,435	480,547
固定負債		
長期借入金	327,762	223,783
リース債務	1,979	2,439
固定負債合計	329,741	226,222
負債合計	770,176	706,770
純資産の部		
株主資本		
資本金	47,560	80,680
資本剰余金	—	281,150
利益剰余金	229,186	398,920
自己株式	△66,610	—
株主資本合計	210,136	760,750
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,751	—
その他の包括利益累計額合計	1,751	—
純資産合計	211,887	760,750
負債純資産合計	982,064	1,467,520

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	1,397,309
売上原価	691,498
売上総利益	705,811
販売費及び一般管理費	437,123
営業利益	268,687
営業外収益	
受取利息	2
補助金収入	1,888
その他	115
営業外収益合計	2,006
営業外費用	
支払利息	1,477
支払保証料	411
上場関連費用	17,208
営業外費用合計	19,098
経常利益	251,596
特別利益	
子会社清算益	2,480
特別利益合計	2,480
税金等調整前四半期純利益	254,077
法人税、住民税及び事業税	86,134
法人税等調整額	△1,790
法人税等合計	84,344
四半期純利益	169,733
親会社株主に帰属する四半期純利益	169,733

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	169,733
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△1,751
その他の包括利益合計	△1,751
四半期包括利益	167,982
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	167,982

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年4月22日に東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）に上場いたしました。上場にあたり、2021年4月21日を払込期日とする公募(ブックビルディング方式による募集)による40,000株の新株式の発行及び190,000株の自己株式の処分により、資本金が33,120千円、資本剰余金が281,150千円増加し、自己株式が66,610千円減少しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が80,680千円、資本剰余金が281,150千円となっております。